

×
学び

みはら



CHILD COMPANY
PROJECT

こども会社 プロジェクト

みはらこども会社プロジェクトってなに？



学校では教えてくれない！
～商品開発から販売まで一環して体験できるプログラム～

協力事業者から商品開発の依頼【美原の古代米】を活用し、新商品の開発→販売を行って頂きました。開発→販売までの過程を通じ、社会で生きていく為の力を身に付けることを目標とします。今後子ども達が生きていく社会は、少子高齢化・AI(人口知能)の発達など【課題が多く、変化の激しい時代】となると言われています。そのような時代でも力強く生きていく力を身につけて欲しいという想いでプロジェクトを行っています。

カリキュラム制度で
事業の流れを
本格的に学ぶ！

会議



スレゼン



会議



商品化・販売



田植え



稲刈り



企画会議



販売

美原区の古代米ってなに？

おいしいよ！



美原区の魅力である農業と歴史資源を活かしたまちづくりの為、黒姫山古墳周辺の水田にて、栽培を行っています。古代米とは、古代から栽培されているお米の特徴を色濃く残したお米です。近年、白米に比べてビタミン類や鉄分といった現代人に不足しがちな栄養素を多く含むと言われ、健康食としても注目されています。



商品ラインナップ

フロrestaは体にやさしいおいしいドーナツのお店



floresta
nature doughnuts

安心して召し上がっていただけるように、できるだけ自然で添加物の含まない材料を選び、お店で一つひとつ丁寧に手作りをしています。すべてのドーナツの要点となるnature(ネイチャー)には、「自然」の他に「本質」という意味もあります。その言葉通り、みんなが食べると幸せで豊かな気持ちになり、本来の自分に帰れるような本当においしいドーナツづくりを目指しています。

フロrestaキッチンコドモ

〒590-0073 大阪府堺市堺区南向陽町 2-3-26

フロresta堺店

〒599-8236 大阪府堺市中区深井沢町 3283 深井駅前ビル 1F

フロresta泉ヶ丘駅前店

〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台 1丁2番1号



▲フロresta HP



【古代米ドーナツ&ラスク】

小麦粉の代わりに古代米粉を 100% 使用しました。ドーナツは、少しもちもち食感になっています。古代米には、ビタミン類や鉄分が多く含れているため美容にも Good !!

■商品についてのお問い合わせ

フロresta泉ヶ丘前店：072-291-8088



障害福祉施設 ワークセンターつつじ



障害を持つ人たちにとって生き甲斐のある場所として、また豊かな労働と社会生活を送る事が出来る場所としての施設作りを目指しています。

現在障害者の工賃アップを目指し、PC 小型リサイクル事業を行っている。



▲つつじ HP



【キナコおばさんの古代米クッキー】

古代米クッキーにきなこでコーティングしました。

素朴な味で昔を思い出します。

ふた口で食べると色が変わるよ!

キナコおばさんの優しい味をお召し上り下さい♪

■商品についてのお問い合わせ

ワークセンターつつじ アンゴリーノ：072-361-2929



【俺の紫黒 古代米クッキー】ごま味・プレーン味

着色料を一切使っていないのに真っ黒!

味と見た目にギャップがあり過ぎる!!

ごま味は、甘さ控えめ、大人向け。

■商品についてのお問い合わせ

ワークセンターつつじ アンゴリーノ：072-361-2929



令和3年4月19日(月曜)

農芸高校インタビュー

農芸高校では、地域を牽引する人材の育成・地域の活性化をめざす「みっかつ～MIHARA 活性化プロジェクト～」に今年度から取り組みます。これに合わせ、「美原区の課題を意欲的に解決してほしい」という趣旨で生徒へ向けた激励ビデオメッセージの撮影協力依頼があり、区長室で撮影を行いました。

この「みっかつ～MIHARA 活性化プロジェクト～」は

1. 美原の古代米や農芸鴨などを活用して、地元飲食店のテイクアウトメニューの開発と販売を実施する。
2. 古代米生産者や地域の団体と連携を図り、美原の古代米のロゴマーク開発などを通じて、ブランドイメージの統一とブランド価値の向上に取り組む。
3. 地域の若手農家と連携して、若い世代が農業に関心を持ち、農業に参入しやすい仕組みや環境を構築する。

という3つの企画で構成されています。

どれも、美原区の人・モノ・歴史など地域資源をつなぎ合わせ、地域課題の解決に取り組むことで人材の育成と地域の活性化をめざすという素晴らしいプロジェクトです。

「現在策定を進めている『美原区ビジョン2025』の基本的方向と理念が合致するもので、大いに期待しています。ぜひとも頑張ってください。」とビデオメッセージでお伝えしました。それにしても、セットされたカメラ3台を前にして少し緊張し、何度も噛んでしまいました。語り掛けるように思いを伝えることの難しさを実感したと同時に、テレビに出ているタレントの方々の方々のすごさを思い知りました。



令和4年6月22日(水曜)

MIHARA活性化プロジェクト

農芸高校で開催された「みっかつ～MIHARA活性化プロジェクト～」のキックオフにお招きいただきました。本プロジェクトに参加されるのは、資源動物科総合環境専攻2年生・3年生（合計40人）です。

まず、担当の先生から次の説明がありました。

(1) 学習目標：「みっかつ」への参加を通じて、鴨産業の復活や美原区活性化の実現に貢献し、社会で生きる力を身につける

(2) グループに分かれて活動する内容：合鴨水稲同時作のマニュアル化、農芸鴨のロゴマーク作成、美原区古代米と農芸鴨を活用した地域活性化アイデアの立案

次に、本プロジェクトリーダーから、「みっかつ」の趣旨や概要説明が行われ、私からは美原区の現状と課題についてお話するとともに、若い力と農芸高校での学びをぜひ美原区の活性化に役立ててほしいとお伝えしました。生徒さんたちはとても真剣に話を聞いてくれていて、11月に予定されている発表会への期待が高まりました。

その後、授業の見学に参加した地域協力者の方と一緒に、「農芸鴨」を使った合鴨農法の田んぼや新設された食鳥処理棟を見学しました。この施設では、生産から飼育、加工、流通までの工程を授業の一環として行うそうです。

生命と産業の教育活動についてのお話を伺い、農芸高校の生徒さんたちが大切な命をいただいていることに感謝し、生命を大切にすること、食を大切にすることを育んでほしいと思いました。

